

# 2023年度 学校教育(基本方針)総括

生駒市立大瀬中学校

## 教育活動目標を達成するための基本方針(重点目標)について

今年度、7つの基本方針のうち、(2)(3)(4)(5)(7)の項目を重点目標に設定し、教育活動を行い、この内容について、学校評価アンケートを基に総括を行った。

- (1) 学校安全管理体制の継承と確立
- (2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進**
- (3) 生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実**
- (4) 命を大切に作る心や人権を尊重する教育の充実**
- (5) 保護者、地域との連携**
- (6) 組織力の向上
- (7) 教職員の働き方改革の推進**

以下【保護者用アンケート ⇒ 保護者 生徒用アンケート ⇒ 生徒 学校評価アンケート ⇒ 教職員】  
今年度、増やした設問については令和4年度のデータ比較はありません。

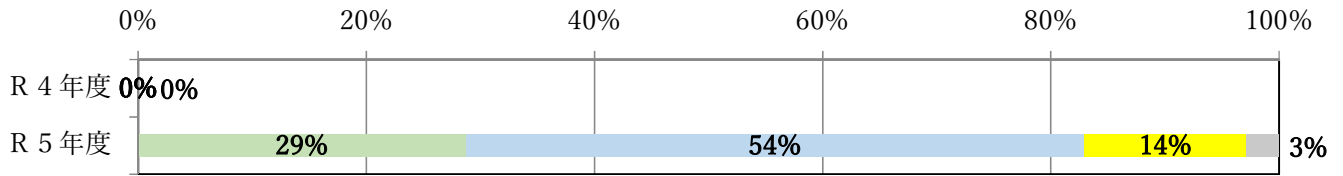
■ 1:思う・あてはまる ■ 2:やや思う・ややあてはまる ■ 3:あまり思わない・あまりあてはまらない ■ 4:思わない・あてはまらない

### (2) わかる授業、魅力ある授業づくりの推進

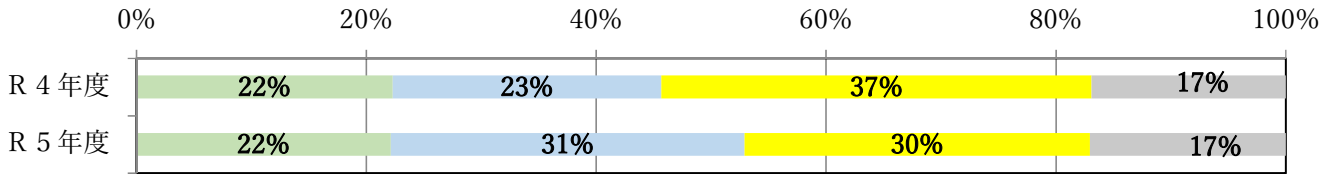
- ① 定期的に校内で公開授業や研修を行い、授業力の向上を図る。
- ② ICT 機器等を活用し、主体的・対話的な学びによる授業や魅力ある授業作りの推進
- ③ 少人数指導、TT(チームティーチング)、学習補充等の実施により基礎学力の充実に図る
- ④ 学校行事を通じて、感性を豊かにする取組を推進する
- ⑤ 学校図書館を充実し、読書活動を推進する

- ① 昨年度から当該学年以外は生徒を下校させ、全職員が校内研修を受ける体勢を整えて校内研修を行っている。  
6月13日(火) 第3学年 全学級道徳「いじめ」について  
9月12日(火) 第2学年 教科授業  
10月31日(火) 第1学年 教科授業  
また、授業参観は保護者対象に年間3回(①6月20日(火)②11月16日(木)③R6 2月2日(金))、  
学校運営協議会では年間2回(①11月15日(水)②R6 2月21日(水))実施した。  
校内研修としては、参観した授業に対してそれぞれ個々に意見を述べているが、今後は授業者と見学者が討論しあう場などを設定することで、研修を通して授業力の向上を図る。
- ② ICT 機器等の活用は、全職員で積極的に進めている。生徒のタブレットの活用も高くなっている。今年度市内のアンケートでも、生徒が積極的に活用している様子が見える。
- ③ 小人数指導や TT(チームティーチング)については、1年生の英語と数学で実施しているが、アンケート(別紙1)から、数学の TT は、教員が複数いることで質問しやすく一人一人をよく見てもらえている、英語の小人数指導は、授業の内容がわかりやすく一人一人をよく見てもらえていると感じていることが読み取れる。  
全ての教員が生徒の実態を把握しながら、基礎学力の定着に努めている。わかりやすい授業について、生徒は83%、保護者は84%がそう思うと答えており、一定の評価は得ていると考えられる。ただし、わかりにくいと感じている生徒が17%いることや、昨年度から8%増加しているがわからないことを先生に聞くことができていない生徒が半数近くいることに着目し、学習を進めることに困っている生徒に対する手立てを工夫し、どのように対応していくかの検討が必要である。さらに、令和5年度の1年生から、令和8年度の公立高校の受検に評価の一部が反映するようになり、さらに生徒や保護者の評価に対する関心が高まっている中で、どのように評価と指導の一体化を図るかについては、校内研修等で検討しながら指導方法を工夫する必要がある。
- ④ 学校行事については、生徒は昨年度よりもさらに積極的に取り組む生徒の割合が上がっており、90%の保護者が学校の取り組み方を認めている。コロナ禍後の行事の在り方についても、内容も含め更に検討していく。
- ⑤ 本校生徒は、図書館の利用率がとても高く、常に50名前後が利用している。さらに多くの生徒が図書館を利用するきっかけにするために、本校学校司書がさまざまなアイデアを出してイベントを行っている。今年度は、生駒市のキャリアプランナーと連携し、9月に文化発表会と連携し、1か月間特別展「さっきとは違う展」を実施するなど積極的な図書館活用にも努めている。

生徒③「授業はわかりやすく学習できる」

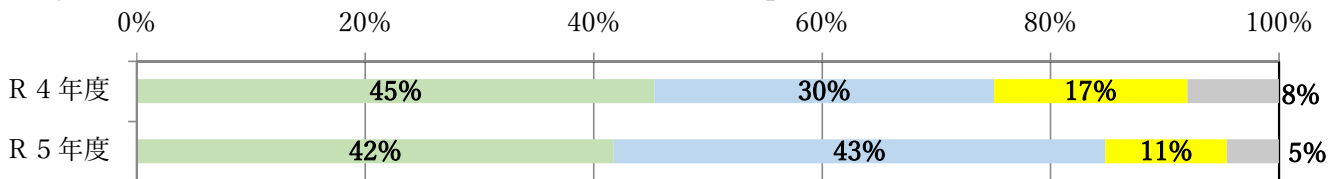


生徒④「授業でわからないことがあるときは先生に聞くことができる」

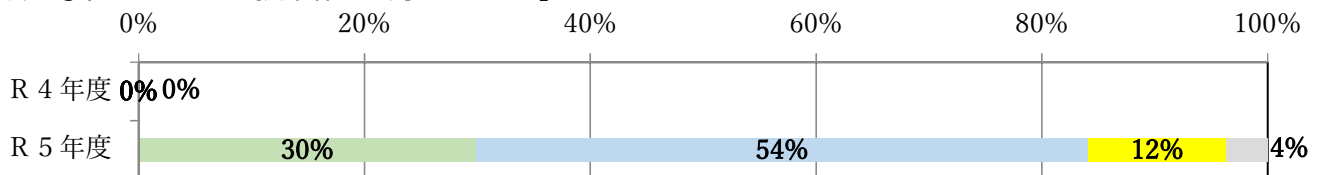


1

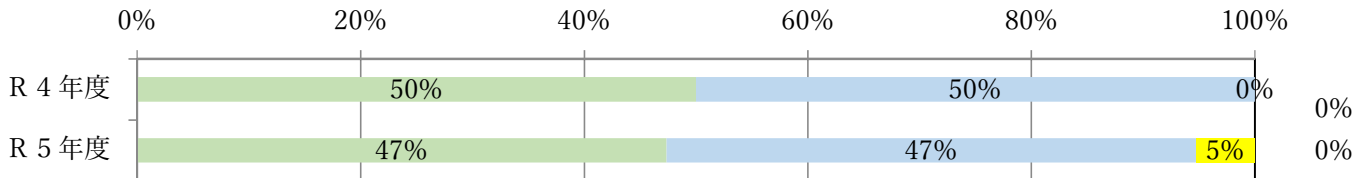
生徒⑤「授業中、周りの人と話し合いをして進める学習をしている」



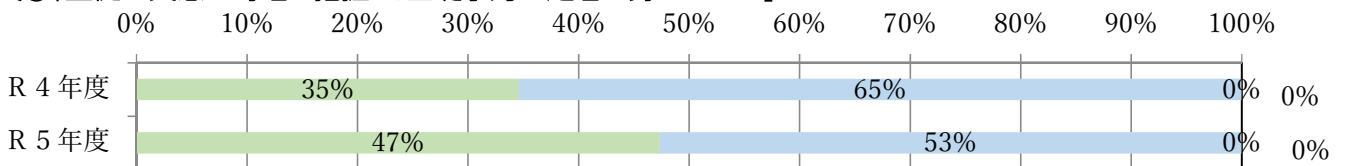
保護者⑥「わかりやすい授業作りに努めている。」



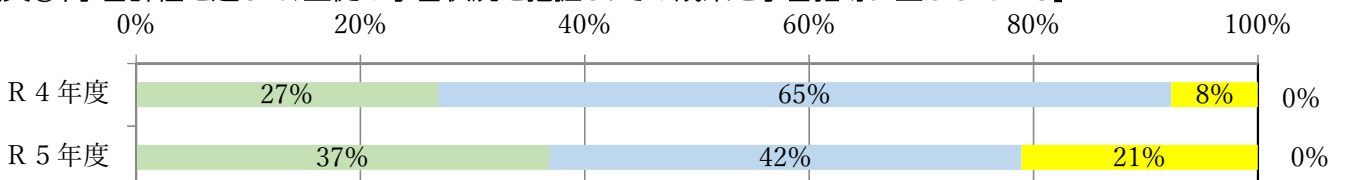
教職員①「指導方法を工夫し・改善し、ICT等を活用した授業の充実に努めている」



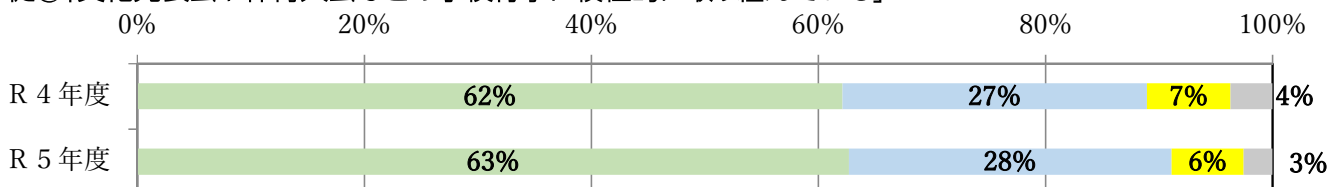
教職員②「生徒の実態を的確に把握し、基礎学力の定着に努めている」



教職員③「学習評価を通じて、生徒の学習状況を把握し、その成果を学習指導に生かしている」

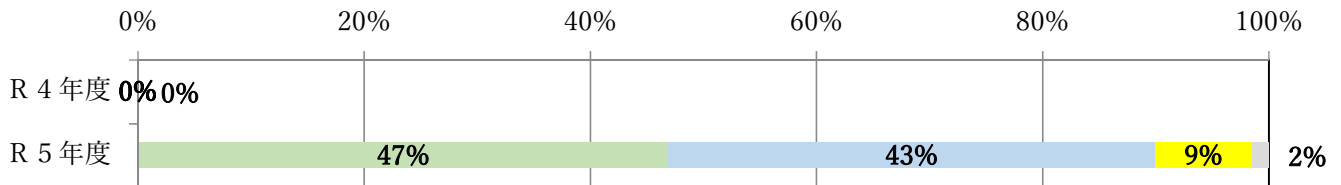


生徒⑦「文化発表会や体育大会などの学校行事に積極的に取り組んでいる」

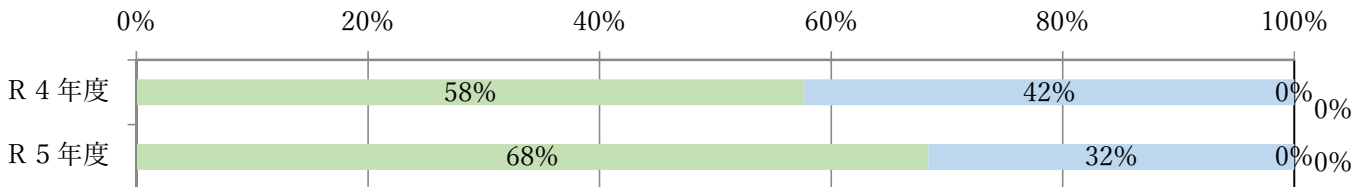


2

保護者③「文化発表会や体育大会などの学校行事は、生徒にとって自主・自立の力がつくよう努めている」



教職員⑤「生徒が、学校行事・生徒会活動・部活動などに積極的に取り組めるよう指導している」



④ 本校公式 X(旧ツイッター)より

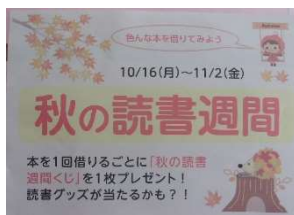
○ALTと協力し英語の本の読み聞かせ ○市教委とタイアップしたイベント ○サポーター協力でイベント



○行事ごとのイベント

○図書給食の紹介

○新着本の紹介



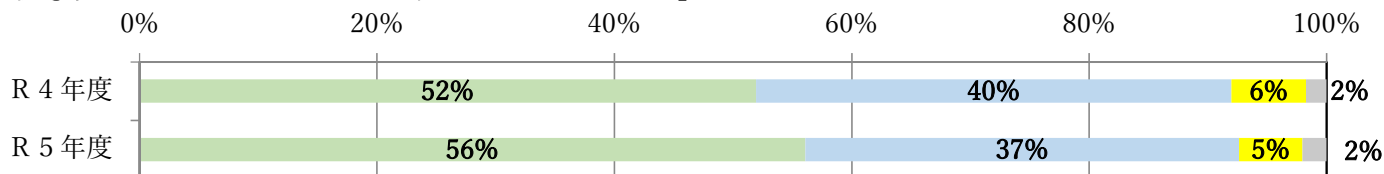
**(3)生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実**

- ① あいさつを奨励し、生徒の基本的な生活習慣を確立する
- ② 生徒理解に努めることにより信頼関係を構築し、生徒の心を耕す教育の充実を図るとともに、規範意識と自己有用感を高める取組を推進する。
- ③ 不登校生徒への対応を充実させるなど、教育相談と生徒指導の両面から生徒理解を深める、また、スクールカウンセラーや関係機関との連携等により、課題のある生徒への対応を充実する。
- ④ いじめの早期発見、早期対応を徹底し、いじめのない学校を目指す。
- ⑤ 生徒の自主的な活動である生徒会活動を活性化する
- ⑥ 教師と生徒の信頼関係に基づく、生徒が主体的に活動する部活動運営を行う。

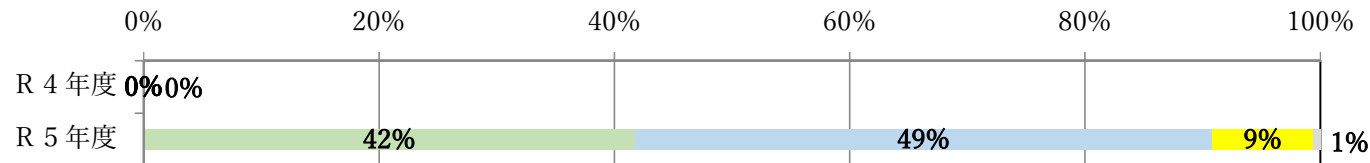
- ① 地域のあいさつ運動もさかんで、その影響もあって、生徒たちは全般的に積極的にあいさつができています。生活委員会が中心となってあいさつ運動も行うなど、あいさつの促進をしていることもあり、93%の生徒があいさつと正しい言葉づかいができていると答え、教職員も94%が積極的に取り組み91%の保護者が学校の取り組みを認めている。さらに、元氣よく笑顔であいさつできることを目指しながら、地域でも積極的にあいさつができるよう取り組んでいきたい。
- ②③ 自分のよさを認めることのできる生徒は、昨年度と比較して増えている。信頼関係を深め、生徒の悩みや困りごとを受け止めることができるように、年間2回教育相談を行い、教員がすべての生徒と話す機会を設けている。悩みや困りごとがあるときには先生や友達や家族など身近な誰かに SOS が出ることの大切さを訴えながらさまざまな生徒の状況に対応していく。さらに教育相談体制の充実も進めていく。
- ④ いじめや暴力については、88%の生徒が安心して学校生活を送っているが、12%が不安に思っている現状を把握し、いじめや暴力は決して許さないという意識を、生徒と教職員がともに高く持って対応していく。
- ⑤⑥ 生徒会活動や部活動など、引き続き積極的に取り組める環境を整える。部活動については、令和8年度以降の休日の部活動の地域移行の方向性も視野に入れながら、現在入部している生徒や保護者にも情報共有

し進めていく。

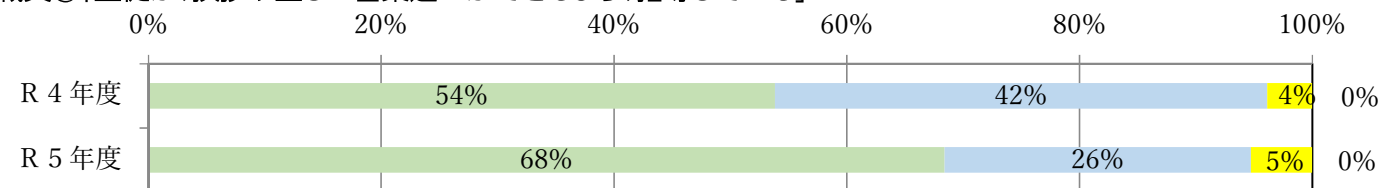
生徒⑩「あいさつやきちんとした言葉づかいができています」



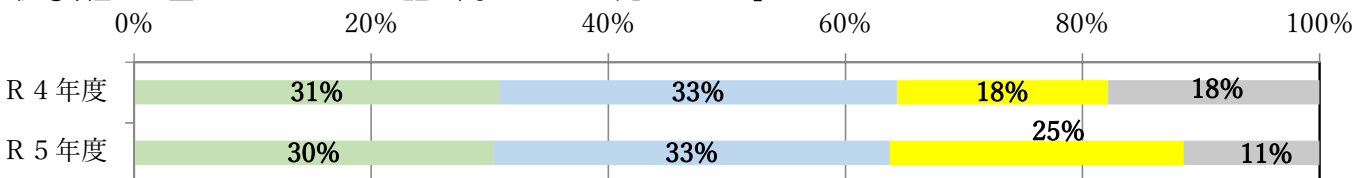
保護者⑨「学校は、生徒が明るく元気なあいさつができるよう努めている」



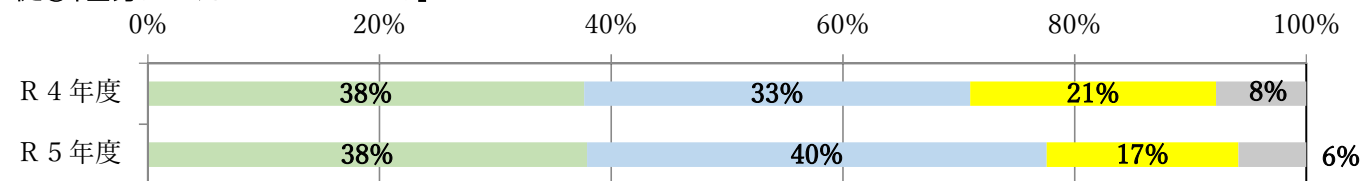
教職員④「生徒が、挨拶や正しい言葉遣いができるよう、指導している」



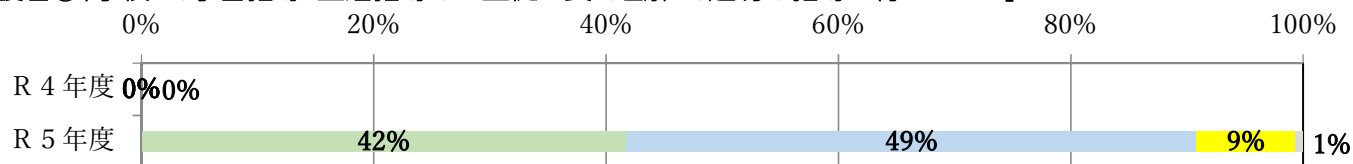
生徒⑬「悩みや困ったことについて話を聞いてくれる先生がいる」



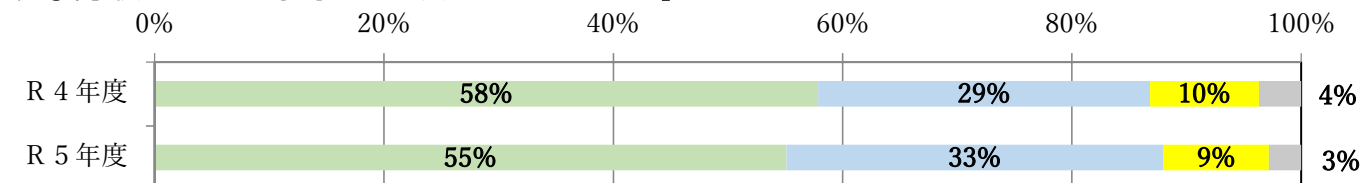
生徒⑰「自分には、よいところがある」



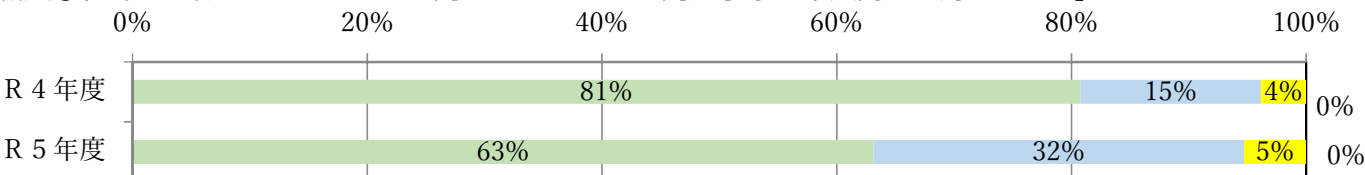
保護者⑩「学校は、学習指導・生活指導など生徒を良く理解し、適切な指導を行っている」



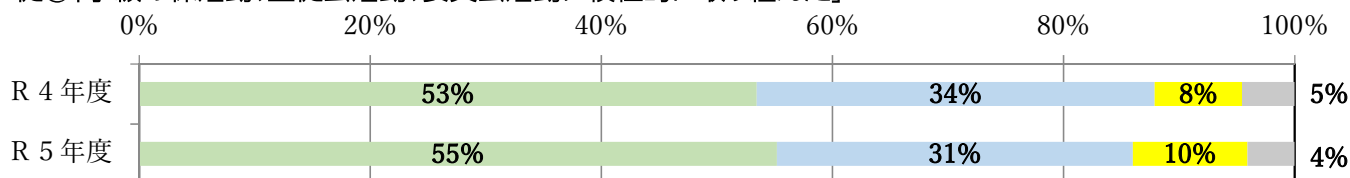
生徒⑯「学校はいじめや暴力がなく、安心して生活できる」



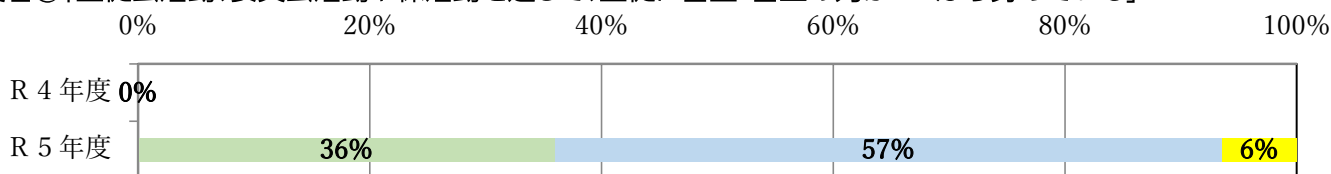
教職員⑧「生徒の課題にしっかりと目を向け、いじめなどの問題事象の未然防止に努めている」



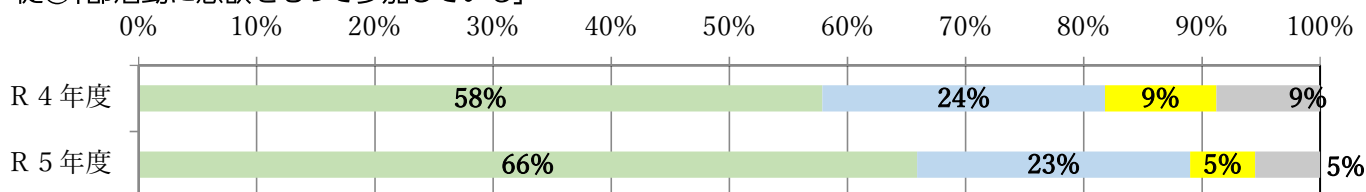
生徒⑧「学級の係活動、生徒会活動、委員会活動に積極的に取り組んだ」



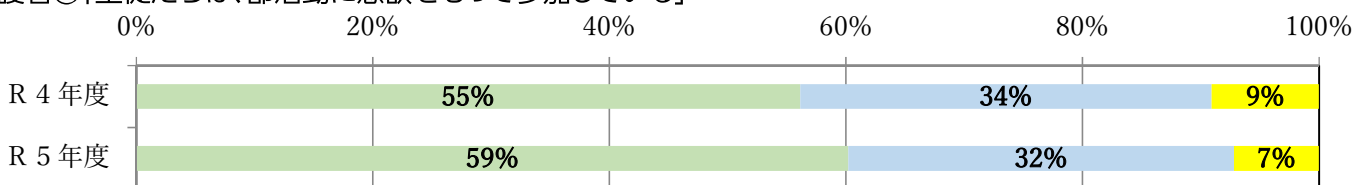
保護者⑭「生徒会活動、委員会活動や係活動を通じて、生徒に自主・自立の力がつくよう努めている」



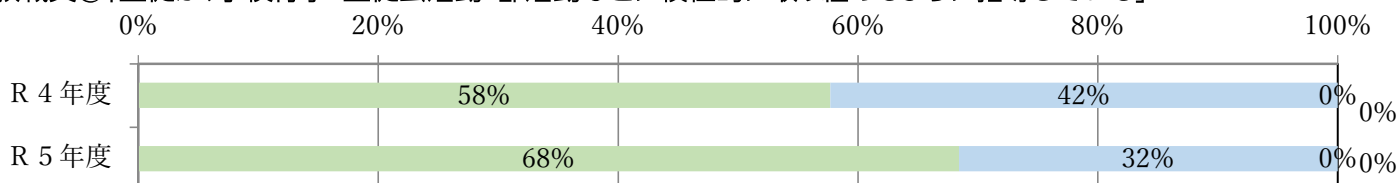
生徒⑨「部活動に意欲をもって参加している」



保護者⑮「生徒たちは、部活動に意欲をもって参加している」



教職員⑯「生徒が、学校行事・生徒会活動・部活動などに積極的に取り組めるように指導している」

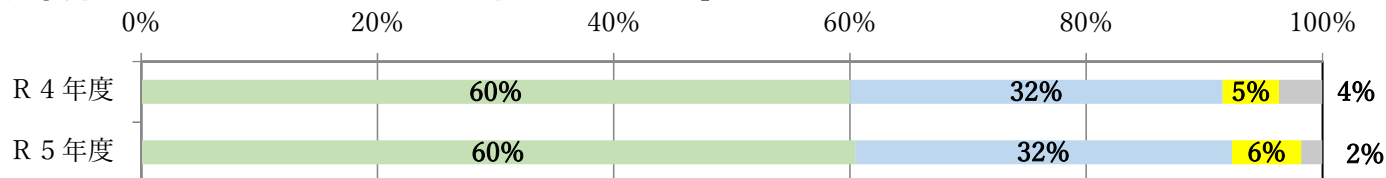


(4)命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実

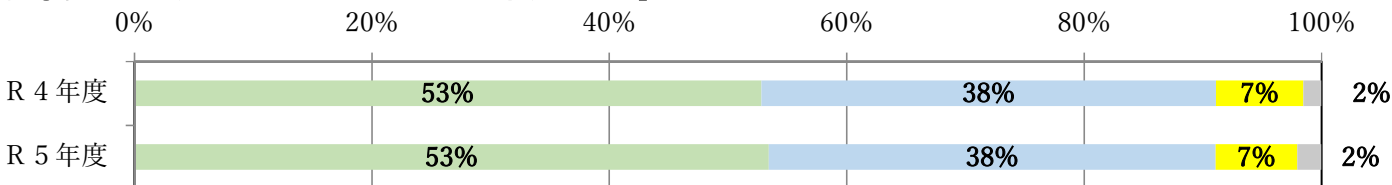
- ① すべての教育活動において、命を大切にする心を育成する。
- ② 人権を尊重し、多様性を認め合い、あらゆる差別を許さない人権教育の充実に努める
- ③ 共に支え合う心を育成し、全校体勢で特別支援教育の充実に図る

- ①② 今年度の始業式に笑顔あふれる学校を目指したいことを宣言し、全校生徒に話をする機会では、折に触れて自分を好きになることや、ありのままの自分を認めること・まわりの人も認めることを話し、学校だよりでも7月の差別をなくす強調月間や12月の人権週間について紹介した。また、避難訓練のときや1月の始業式で能登半島地震について話しながら、いのちの尊さについて話す機会を持った。また、各学年の取り組みとして、障がい者理解を深めるために車いす(福祉)体験や、平和学習として被ばくされた方の話を聞いたり、ハンセン病についての学習を進めた。
- ③ 特別支援教育については、今年度校内委員会を2回開催し、個々の生徒についての情報交換に努めた。来年度は、特別支援教育コーディネーターを中心に、各特別支援学級担任をはじめ、各学級担任とも連携を密にし、さまざまな支援が必要な生徒に対し、きめ細やかな状況の把握ができる校内体制の構築を目指す。また、各関係機関や保護者とも連携を図りそれぞれの対応を進めていく。

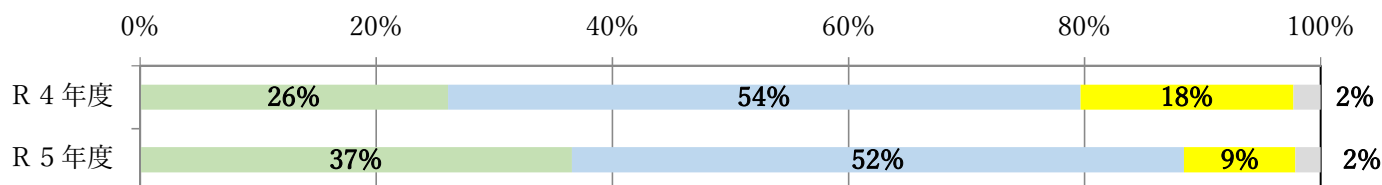
生徒⑫「学校で命の大切さや人権について学ぶことができた」



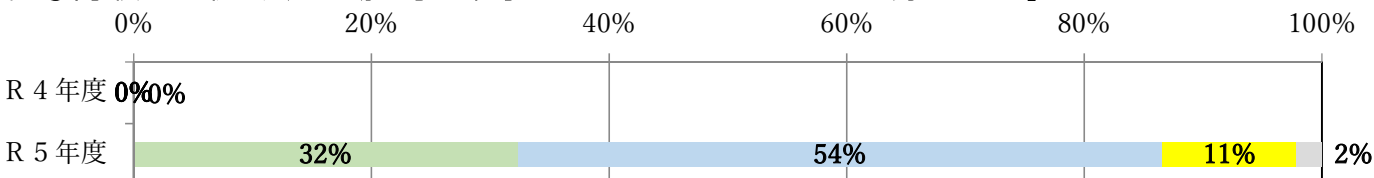
生徒⑭「周りの人に思いやりをもち、やさしく接している」



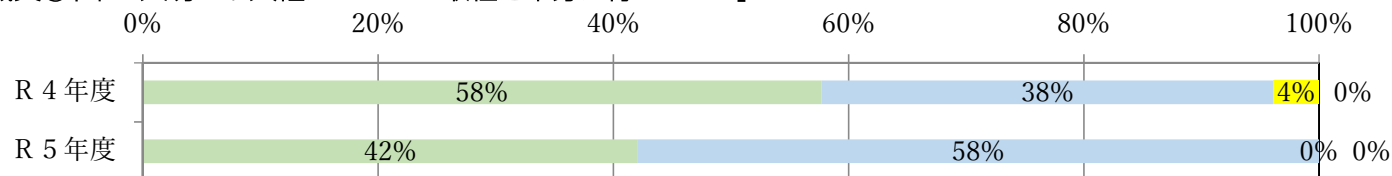
保護者⑦「学校は、命の大切さや人権を尊重する教育を推進している」



保護者⑧「学校は、生徒に人の立場を考え、相手を思いやることができるように努めている」



教職員⑥「命の大切さや人権についての取組を十分に行っている」

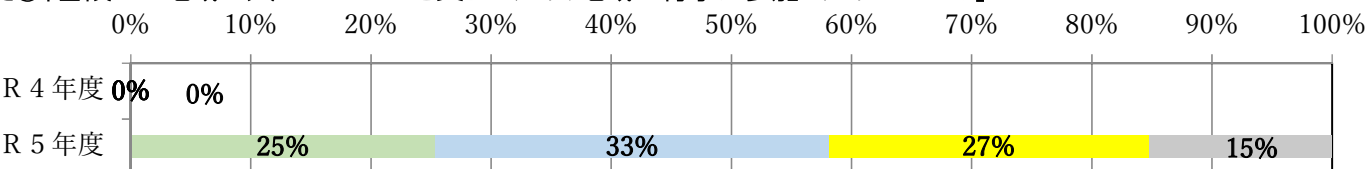


(5)保護者、地域との連携

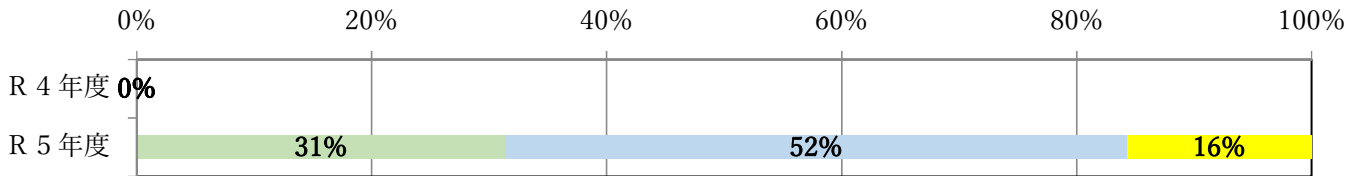
- ①学校ホームページや各種通信を通して、学校の様子や情報を積極的に公表し、信頼関係を構築する
- ②学校運営協議会を核として、地域と共にある学校づくりを推進する。

- ① 今年度は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類になったことを受け、検討しながら学校を開放していった。先にも述べたが、授業参観(年3回)や部活動懇談と参観(年2回)、今年度は参観後に保護者と教職員の研修会も行った。また、学校の日常を公式 X(旧 Twitter)を通じて、周知している。(今年度2月16日現在で180回を超えた。)
- ② 大中サポーターの募集をかけ、花いっぱい活動・除草作業活動・図書館整備を新設し、今まであった家庭科の授業補助活動も連絡方法なども整理し、参加しやすい体制作りを行った。年間3回、各自治会に回覧を行い、大中サポーター募集のお願いや、学校だより・サポーターの活動報告や公式 X(旧 Twitter)の紹介などを行うことで、興味をもって見ていただく人も増え、地域の方にも大瀬中学校の様子を知っていただくことができた。  
来年度は内容を整理し、今後を見越して継続した地域協働本部としての活動内容を工夫し、生徒たちが地域に根差す活動につなげる取り組みを考えていきたい。

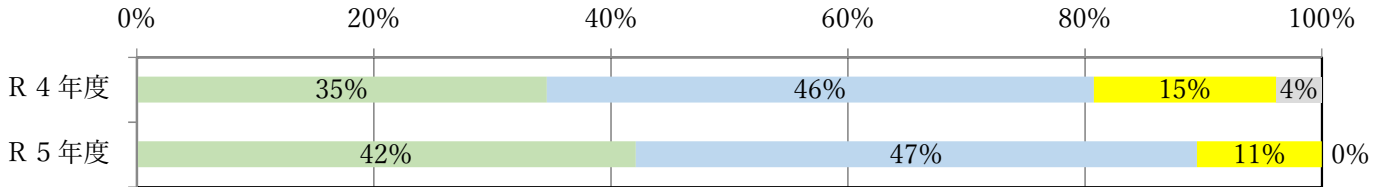
生徒⑳「普段から地域の人とあいさつを交わしたり、地域の行事に参加したりしている」



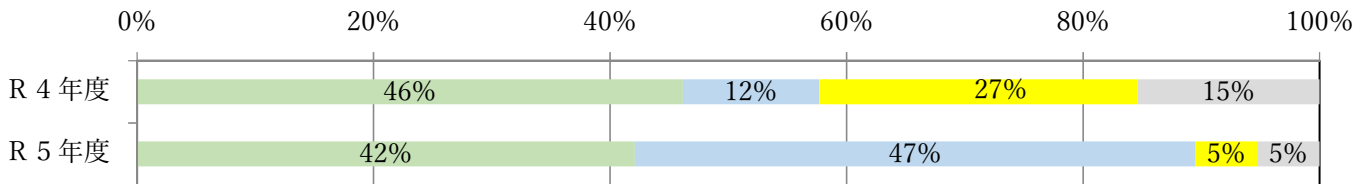
保護者⑦「学校は、保護者・地域と連携して教育活動を進めようとしている」



教職員⑥「授業や学校及び学年行事の積極的は公開に努めている」



教職員⑦「通信やホームページ、公式 X、保護者会等を通じて、家庭や地域への情報発信に努めている」



(7)教職員の働き方改革の推進

①仕事の効率化を図り、積極的に働き方や業務を見直すことで、だれもが働きやすい職場を目指す。

学校独自に毎週水曜日を定時退勤日と決めて進めていたが、特に3月下旬から9月中旬までの最終下校時刻を6時に設定している半年間は、定時に帰ることは難しかった。本来会議のある日は、生徒の安全のため、部活動を全面停止にしていたが、昨年度より、会議等のない水曜日の最終下校時刻を一律5時とし、定時に退勤しやすい環境を整えた。また、今年度、部活動の最終下校時間の見直し等を行い、生駒市全体で来年度からの部活動の下校時間が変更になる予定である。

また、今年度は、保護者宛の文書をすぐーるで配信することで、連絡漏れをなくし、業務改善とペーパーレスにつなげた。さらに、年度途中からすぐーるを使った欠席や遅刻等の連絡を開始し、限られた時間内で欠席などの電話をすることがむずかしい家庭の負担をなくし、話中になる状況の改善を行った。(電話での欠席等の連絡も受けている。)

今年度からポータルサイトを作成し、ネットへのアクセスを簡略化し、データを統括することで複数保存を避け、職員朝礼の時間短縮とペーパーレスにつなげ、職員会議でのペーパーレスも継続している。

今後生徒数の減少により教員数が減ることも考慮し、校務分掌の内容と全体を見直し、働き方改革について検討する部をたちあげるなどし、校務分掌の見直しを進めていく。